

HA工法の施工手順

STEP
1

下地処理、清掃、養生

下地と塗料の付着を阻害するようなレイトンス、油脂、錆、汚れを除去します。ひび割れ部からの水分は十分に止水してください。



STEP
2

KFウレタンプライマー50N塗布

1液湿気硬化型ウレタン塗料で、混合不要です。刷毛やローラーを使って簡単に塗布可能です。※コンクリート素地部の場合吸い込みの多い箇所は増し塗りしてください。



STEP
3

KFシールテクトHAトップ塗布(2回塗り標準)

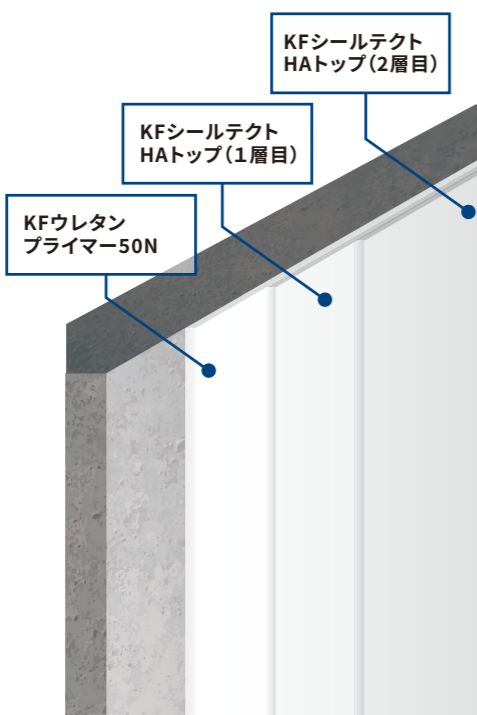
1液湿気硬化型ウレタン塗料で、混合不要です。金コテ、ゴムコテを用いて塗布し、1層目硬化後に2層目を塗布します。※下塗りの指触乾燥を確認してから塗布してください。※HAトップの塗り重ねの際に、1層目の内部が硬化不十分の場合に塗膜のちがみを起こす場合がございます。2層目の塗装時には、塗膜を指で押して内部硬化していることを確認してください。



施工条件

- ⚠️ 降雨・降雪・強風のない、気温 5℃ 以上湿度 85% 以下の環境で作業すること。
- ⚠️ 施工面が十分乾燥し、結露・凍結がないこと。
- ⚠️ 施工面の補修歴が施工に支障ない下地であること。
- ⚠️ 施工面が濡れていないことを確認すること。(下地含水率 10%以下)
- ⚠️ 施工面を十分に清掃し、付着阻害要因となる異物を除去すること。
- ⚠️ 施工に支障のない程度に止水処理がされていること。

標準施工断面図



各種塗料の塗装間隔(目安)

材 料	5~15℃ (冬期)	15~25℃ (春秋期)	25~35℃ (夏期)
KFウレタン プライマー50N	塗装間隔	4時間~7日間	2時間~7日間
	塗装間隔	2時間~7日間	2時間~7日間
KFシールテクト HAトップ1層目	塗装間隔	12時間~7日間	8時間~7日間
	塗装間隔	8時間~7日間	4時間~7日間

KFシールテクト HA工法 標準仕様 Standard Specification

塗装工程	塗装名	使用量(kg/m)	塗装方法	塗装間隔(20℃)
素地調整	コンクリート塗装部・コンクリート片剥落防止塗装部鋼床版側縦桁定着板及び付属施設物の場合	・下地の塗膜表面をワイヤーブラシ等で目粗し、塗膜のチョーキングや粉塵、塩分はウエス等で拭き取る。 ・油脂類は必要に応じてウエスにウレタンシンナーを含ませて擦って除去する。		
	コンクリート素地部の場合	・表面のエフロッセンス、レイトンスをワイヤーブラシ等で目粗して脆弱部分を除去する。 ・コンクリート面が大きく欠損した箇所には、モルタル等で部分補修を行う。		
	金属素地(亜鉛メッキ鋼板・アルミ板・銅板)の場合	・下地が錆びている場合、電動サンダー等で浮き錆を除去する。粉塵、塩分はウエス等で拭き取る。 ・油脂類が付着している場合は、必要に応じてウエスにウレタンシンナーを含ませて擦って除去する。		
下塗り	KFウレタンプライマー50N (1液湿気硬化型ウレタン樹脂塗料)	0.1以上	刷毛・ローラー・スプレー	—
上塗り1	KFシールテクトHAトップ (1液湿気硬化型ウレタン樹脂塗料)	1.4以上	金コテ、ゴムコテ、刷毛	2時間~7日間
上塗り2	KFシールテクトHAトップ (1液湿気硬化型ウレタン樹脂塗料)		金コテ、ゴムコテ、刷毛	8時間~7日間

特記事項

- ⚠️ 塗装間隔は下塗りにおいては指触乾燥を確認後に次工程に進む。次工程までの塗装間隔が超過した場合は塗膜表面を目荒らしし再施工を行ってください。
- ⚠️ 下塗り塗膜が降雨等で白華現象を起こした場合は、マジックロン等で目荒らしてから再施工を行ってください。
- ⚠️ コンクリート素地部で吸い込みの多い場合、上塗り後にふくれを発生する場合があります。その場合塗装間隔をあけてください。
- ⚠️ コテ仕上げによるコテ目修正は、段差を削って再度 KF シールテクト HA トップを薄塗り(0.2kg/ m²程度)して仕上げてください。
- ⚠️ KFウレタンプライマー50Nを旧塗膜へ塗装する際は、旧塗膜がちがみ(リフティング)を起こす場合がございます。予めご確認の上施工してください。
- ⚠️ HAトップは、材料に対して2%の水を添加して機械攪拌すると数時間後に固化します。

KF KFケミカル株式会社
KF Chemicals, Ltd.

■ 本 社 (土木・建築事業部)
〒105-0004 東京都港区新橋 1-1-1 日比谷ビルディング 9F
TEL:03-6629-9033 FAX:03-6629-9023
<http://www.k-fine.co.jp/>

特約店

KF KFケミカル株式会社
KF Chemicals, Ltd.

コンクリート片剥落防止工法

KFシールテクト HA工法



Merit of KF Sealtect HA Method

KFシールテクト HA工法のメリット

全工程 1液性材料

施工時間を軽減 LABOR SAVING

硬化剤を計量、混合する手間、攪拌機を洗浄する手間がありません。

安定した品質 STABLE QUALITY

配合ミス、攪拌不足による硬化不良の危険がなく安定した塗膜となります。

可使用時間が長い LONG WORKING LIFE

反応硬化型と違い、作業中に粘性が上がり扱いづらくなったり、硬化して材料ロスになるリスクが低減できます。

工期の短縮 SHORT PERIOD

3工程で工期、交通規制期間の短縮が図れます。

ヒューマンエラーの低減 RISK REDUCTION

使用材料は2種類で作業を簡素化することができます。

省工程

長期の 塗膜性能

トップコートレス TOP COAT LESS

剥落防止層に耐候性を持たせることでトップコートなしで長期性能を維持します。

高耐久塗膜で優れた機能を発揮 DURABILITY

省工程でありながら、優れた剥落防止機能とひび割れ追従性、各種コンクリート保護機能を兼ね備えております。

1液湿気硬化型ウレタン塗料

KFウレタンプライマー50N

消防法危険物
第四類第二石油類

含浸性能が高く、速乾性の下塗材

荷姿 3kg/缶

標準塗布量 0.10kg/m²

【適用下地】 モルタル、コンクリート、PVC、ウレタン塗膜、シリコン塗膜、フッ素塗膜、アルミ板、銅板、亜鉛メッキ鋼板

KFウレタンプライマー50Nの特長

FEATURE 1 1液タイプで混合の必要がない

FEATURE 2 乾燥時間が短い

FEATURE 3 鋼材部に残るわずかな錆も含浸固化し性能を発揮する

KFウレタンプライマー50Nの乾燥性

塗料温度	指触乾燥(代表値)	硬化乾燥(代表値)
5℃	3時間	8時間
23℃	1時間	2時間
35℃	0.5時間	1時間

使用上の注意

- ⚠ 使用後は必ず密閉し水分混入の無いように保管してください。
- ⚠ 使用した器具類は直ちにシンナー洗浄してください。放置すると硬化し洗浄が困難になります。
- ⚠ 空気中の水分と反応する為、数時間放置する場合には、マスクやビニール等で塗料を空気から遮断してください。

1液湿気硬化型ウレタン塗料

KFシールテクトHAトップ

消防法危険物
第四類第二石油類

高耐候性を有する強靱な塗膜を形成し、防水性と剥落防止の機能を高める上塗り材

荷姿 8kg/石油缶

標準塗布量 1.4kg/m² ※KFシールテクト HAトップは塗り重ね回数を2回とし、総塗布量を1.4kg/m²とします

KFシールテクト HAトップの特長

FEATURE 1 1液タイプで混合の必要がない

FEATURE 2 耐候性に優れ構造物の耐久性向上

FEATURE 3 経年で発生する部材の剥落、クラックによる漏水防止

KFシールテクト HAトップの乾燥性

塗料温度	指触乾燥(代表値)	硬化乾燥(代表値)
10℃	8時間	12時間
23℃	4時間	8時間
35℃	2時間	4時間

使用上の注意

- ⚠ 使用後は必ず密閉し水分混入の無いように保管してください。
- ⚠ 使用した器具類は直ちにシンナー洗浄してください。放置すると硬化し洗浄が困難になります。
- ⚠ 空気中の水分と反応する為、数時間放置する場合には、マスクやビニール等で塗料を空気から遮断してください。

鋼橋塗装設計施工要領(首都高速道路(株)2021年10月 防水塗装A種)に適合する

性能

試験項目	結果	規格	試験方法
耐荷性(kN)	3.2	1.5以上	
付着性	標準養生後(N/mm ²)	3.2	1.0以上
	半水中養生(N/mm ²)	1.7	1.0以上
	温冷繰り返し養生(N/mm ²)	2.8	1.0以上
耐久性	屋外暴露試験後の耐荷性(kN)	2.2	1.5以上
	促進耐候性試験後	光沢保持率(%) 色差△Eab	96 0.7
伸び性能(押し抜き)(mm)	45.8	10mm以上の変位が確認出来ること	
赤外吸収スペクトル	登録済み	品質規格試験と同一と認められること	
景観(施工後の外観)	合格	著しく不連続がなく調和していること	
しゃ塩性(塩素イオン透過量)(mg/cm ² ・日)	測定下限値(0.34×10 ⁻³)以下	塗膜の塩素イオン透過量(5.0×10 ⁻³)以下	
中性化阻止性(中性化深さ)(mm)	0.0	1以下	
水蒸気透過阻止性(水蒸気透過量)(mg/cm ² ・日)	0.7	5.0以下	
ひび割れ追従性	標準養生/常温時(mm)	5.7	2.0以上
	促進耐候性試験後/常温時(mm)	5.9	2.0以上
	標準養生/低温時(-20℃)(mm)	1.0	0.4以上

首都高速道路
「鋼橋塗装設計施工要領」
防水塗装(2019年7月)
による

KF Sealtect HA Method